

来年度になってからではなく、今年度の内にしっかりと準備をして素晴らしいスタートを! (その2)

## 目標達成に向けた組織的授業改善の準備を進めておきましょう!

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進に当たって、各学校における校内研修（校内研究）、APの取組は、教員の指導力向上に大きな役割を果たすようになってきていると考えています。

しかし、校内研修に費やす時間も限られる中で、教員の指導力向上や、さらには児童生徒の確実な変容にどのくらいつながっているのか、改めて検証していく必要もあると考えています。

来年度に向けて、「**求められる授業像**」を共有し、学校全体で組織的な授業改善が進められるように準備しておく必要があります。

一つ一つの知識がつながり、「分かった!」「おもしろい!」と思える授業に。

見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業に。

周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業に。

自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業に。

授業改善を学校全体で推進するためには、学校経営アクションプランや校内研究計画を共通理解するとともに、管理職がリーダーシップとマネジメントシップを発揮し、次のような点に留意して、授業改善を組織的に進める体制づくりを行う必要があります。

- ①管理職は、授業改善の明確な方向性を示すとともに、的確な管理・運営を行うため、主幹教諭や教務主任等に適切な指導助言を行う。
- ②管理職は、学校の規模や実情を踏まえ、必要に応じて、授業改善のための組織を編成する。
- ③主幹教諭、教務主任、指導教諭、研究主任、学力向上担当等は、緊密に連携し、改善を進める。

これらのことをもとに、役割分担をイメージしてみたものが次のページです。参考にさせていただき、体制づくりを今年度の内から考えておいていただきたいと思います。

## 校長・副校長・教頭

- ・学校の教育目標及び重点目標を示す。
- ・主幹教諭・教務主任、指導教諭・研究主任・学力向上担当等を活用し、学校経営アクションプランを意識しながら、授業改善の方向性や授業改善のための組織づくりを決定する。
- ・学校経営アクションプラン及び校内研究全体計画に基づき、適切な指導・助言を行う。

### 主幹教諭・教務主任

#### 【校内研究全体の推進・進捗管理】

- ・授業改善の方向性の具体化  
⇒指導教諭・研究主任・学力向上担当と協議
- ・授業改善体制づくり
- ・授業改善の時間の確保
- ・取組の進捗管理と助言
- ・取組の教育課程への反映

### 指導教諭・研究主任・学力向上担当

#### 【授業改善の実務の推進】

- ・学校経営アクションプラン及び校内研究全体計画の立案  
⇒主幹教諭・教務主任と協議・調整
- ・取組の進捗管理と助言
- ・関係分掌等や外部講師等との連絡・調整
- ・取組の検証実施
- ・改善計画の立案 ⇒主幹教諭・教務主任と協議

### 学年主任

- ・学校経営アクションプラン及び校内研究計画の周知徹底
- ・取組の推進
- ・検証のためのデータ取りまとめ
- ・学年部会等の意見集約

### 教科主任

- ・学校経営アクションプラン及び校内研究計画の周知徹底
- ・取組の推進
- ・検証のためのデータ取りまとめ
- ・教科部会等の意見集約

### 分掌主任

- ・授業改善に係る環境整備等の計画・実施